

タイトル	ボロボロな外壁のサイディング補修 DIY方法と業者依頼の判断基準			想定文字数	8350			
合計文字数	8350			平均文字数	8000			
見出し	文字数 (目安)	タイトル	記事執筆・ライターの内容	画像発注・画像作成案				
リード			この内容で読者は「自分の家のサイディングがどれか」を理解でき、記事の対象範囲を明確にする。 サイディングは外壁に貼る板状の外壁材・日本の住宅の約80%で使用されている最もポピュラーな外壁材・従来のモルタル壁に比べて施工が簡単で工期が短い 【主な種類】表でシンプルに表現する 商業系サイディング(シェア約70%):セメントと繊維質を混ぜて板状に成型 金属系サイディング:アルミニウムやガルバリウム鋼板 木質系サイディング:天然木材を使用 樹脂系サイディング:プラスチック素材 ・記事では商業系サイディングの補修方法を解説 ・理由:日本の住宅で最も多く使われており、DIY補修の対象になりやすいため	アイキャッチ				
H2	300	サイディングとは?種類や特徴を解説	図解					
H2	200	あなたの家のサイディングは補修できる?ボロボロ度と緊急性をチェック【判断基準】	図解					
H3	250	どんな症状ならサイディングの補修ができる?	チェックリスト(高さ、環境面、欠けのサイズ、ひび割れ、下地の状態など)→PDF化 全て該当→DIY可能、1つでも該当しない→業者依頼	画像				
H3	250	DIY補修ができる条件とは?	条件:1m以下程度の小規模な範囲、浅いひび割れ、1階部分 メリット:費用3,000~8,000円、達成感 デメリット:耐用年数3~5年、仕上がり	画像				
H3	250	業者依頼が必要な条件とは?	条件:広範囲の剥がれ、深いひび割れ、下地劣化、高所での作業 メリット:耐用年数長い、保証付き、仕上がり綺麗 デメリット:費用15,000円~	画像				
H2	200	サイディングがボロボロになる3つの原因	原因1:塗膜の劣化(築10~15年) 原因2:コーティングの劣化(築10年前後) 原因3:凍害(寒冷地・寒暖差)	図解				
H3	250	原因1:塗膜の劣化(築10~15年)	表面の塗装が紫外線・雨風で劣化 サイディング本体が吸水→膨張・収縮→ボロボロに	画像				
H3	250	原因2:コーティングの劣化(築10年前後)	自地のコーキングがひび割れ 隙間から雨水侵入→サイディング劣化	画像				
H3	250	原因3:凍害(寒冷地・寒暖差が大きい地域)	吸水したサイディングが凍結・膨張 内側から破壊される	画像				
H2	300	ボロボロなサイディングの補修に使う材料と道具	材料・道具を表で明記 商業系サイディング用バテ(未開封・使用期限内) プライマー(バテと同じメーカー推奨) 補修塗料(色合わせ済み) 金属製ヘラ サンドペーパー(#180と#400) マスキングテープ フラン 脚立(必要な場合) そのほか(バケツ・保護手袋・ゴーグル・雑巾)	図解				
H2	200	サイディングの補修に使うバテの選び方	材料・道具を表で明記 購入時の注意点、作業に適した日(気温・湿度)	図解				
H3	300	バテ材の種類とそれぞれの特徴	3つ紹介	画像				
H3	200	バテとコーティングの使い分けの基準	症状に応じた使い分けを記載	画像				
H3	200	サイディングの補修におすすめのバテ材	2つ紹介	画像				
H2	200	サイディング補修の手順【7ステップ】	購入時の注意点、作業に適した日(気温・湿度) 初心者に合わせて余裕を持った時間表記であることを明記する。 下記もわかるようにトータルの日数を記載する。 ※1: 実作業の時間・日数 ※2: 乾燥等の待ちの時間・日数	図解				
H3	250	STEP1:作業の準備(30分)	補修する範囲	画像				
H3	250	STEP2: 清掃・下地処理・養生(60分)	ブラシで補修箇所の汚れ、コケ、カビを除去 水洗いした場合は完全乾燥(半日~1日) 手で軽く触ってバテが剥落する部分のみ取り除く 注意:削りすぎ徹底、乾燥不十分で作業開始しない 補修箇所の周囲3~5cmにマスキングテープを貼る はみ出し防止で台上上がりを抑制するための重要な工程	図解				
H3	250	STEP3: プライマー塗布(20分+乾燥1時間)	ハケで補修箇所に薄く下準備 密着性を高めるための下準備 製品の指定時間は必ず守る!触って乾いていればOK) 乾燥時間を守らないバテが剥がれる原因No.1	図解				
H3	250	STEP4: バテ充填(30分)	ハラでバテを補修箇所に押し込むように充填 少し盛り上がる程度に多めに塗る(後で削るため) 空気が入らないよう、しっかり押さえ コツ:1度に厚く塗らない(厚さ3mm以下)、深い欠けは2回に分けて塗る	図解				
H3	250	STEP5: 乾燥(6~24時間)	バテが完全に硬くなるまで待つ この間に雨が降らないよう天気予報を再確認 触って固ければOK 注意:製品により乾燥時間が異なる(説明書を必ず確認)	図解				
H3	250	STEP6: 研磨(30分)	サンドペーパー:#180で表面を平らに削る #400で仕上げ研磨(ぬめりかに) 削りすぎ注意、周囲との段差をなくすイメージ 研磨後は必ず粉を拭き取る	図解				
H3	250	STEP7: 塗装仕上げ(1時間)+乾燥2時間	マスキングテープを剥がす 補修塗料で仕上げ塗装(2~3回重ね塗り) 各回の乾燥時間を守る(30分~1時間) 色合わせのコツ:晴れた日の自然光で色確認、1回目は薄く塗る、境目をぼかす	図解				
H2	200	サイディングのバテ補修でよくある失敗と対策	乾燥時間の目安 プライマー: 30分~1時間 バテ: 6~24時間(製品により異なる) 仕上げ塗装: 1~2時間	図解				
H3	250	失敗1 乾燥時間を守らず次の工程へ進んでしまう	【正しい手順】深い欠け(5mm)の場合: 1回目: 2~3mm塗る → 6時間以上乾燥 2回目:さらに2~3mm塗る → 6時間以上乾燥 研磨・仕上げ	図解				
H3	250	失敗2 一度に厚く塗りすぎる	【下地チェック方法】 補修箇所を手で触る → サラサラしていればOK 白い紙を押し付ける → 湿気で紙が湿らなければOK 色が濃くなっている箇所 → 水分が残っているサイン	図解				
H3	250	失敗3 下地の汚れ・湿気を残したまま施工してしまう		図解				
H2	300	サイディングの補修費用【DIYと業者の相場比較】		図解				
H2	300	業者にサイディング補修を依頼する場合の選び方		図解				
H2	150	放置は危険!ボロボロなサイディングのリスク		図解				
H3	250	リスク1 雨漏りで建物内部が腐食(補修費数百万円)		図解				
H3	250	リスク2 断熱性能低下で光熱費が年間5万円増		図解				
H3	250	リスク3 資産価値が10~20%下落		図解				
H2	250	まとめ サイディングの補修は条件を満たせば自分でできる		図解				
H2	300	よくある質問		図解				